

## 気候危機を 乗り越えるために 地球温暖化対策で人命を守ろう

地域の未来を考えるセミナーを開催します。参加無料・申込不要です。また、参加者全員にエコグッズを呈します。

### 日時・会場

10月7日(土)	午前10時～	北コミュニティセンター
	午後2時～	東コミュニティセンター
10月21日(土)	午前10時～	中央コミュニティセンター
	午後2時～	牛頸公民館

※受け付けは開始時間の30分前から

**講師** 神田みゆきさん（熊本県地球温暖化防止活動推進センター代表・NPO法人SDGs Association熊本代表理事）

**問い合わせ先**  
循環型社会推進課ゼロカーボン推進担当

☎(580)1886

## 大野城市迷惑行為防止 アクションプラン 年次報告書ができました

13項目の迷惑行為防止のために、大野城市迷惑行為防止アクションプランに取り組んでいます。

令和4年度に重点的に取り組んだ4項目を中心にまとめました。結果は今後の取り組みに反映します。

◆自転車運転者が周囲に危険を及ぼすおそれのある運転をする

◆飼い主のいない動物に無責任に餌を与える

◆家庭のごみやせん定枝などを屋外で焼却する

◆自動車運転者が周囲に注意を払わず、危険な運転をし、または騒音により周囲の生活環境を害す

迷惑行為を減らすためには、地域一体の取り組みが不可欠です。協力し住みやすいまちを目指しましょう。

**閲覧場所** ◇市ホームページ◇行  
政資料室（市役所  
新館3階）

### 問い合わせ先

循環型社会推進課生活環境・最終処分場担当

☎(580)1887



## あけてみよう！ 歴史のとびら かつて、大野の町にアメリカがあった

168



### 〈朝鮮戦争とアメリカ兵の住宅不足〜米軍ハウス〉

昭和25年に朝鮮戦争が始まり、板付基地に駐留するアメリカ兵が増員されると、春日原住宅地区の外にもアメリカ兵が暮らす住宅（オフベースハウス）が建てられるようになりました。こうした住宅は地元では「米軍ハウス」と呼ばれています。

米軍ハウスは、木造平屋の一戸建てで、外壁や破風がモルタル塗り、セメント瓦の屋根。内装は、床はフローリング、洋式の水洗トイレやシャワーがあるとといった特徴があります。ハウスの壁にはアメリカ軍が管理する住宅を表す「I A B (Izazuke Air Base)」の文字とハウスのナンバーを示す数字が書かれていました。

米軍ハウスは昭和47年に板付基地が完全撤収した後、住宅や店舗などに使用されていましたが、その数は年々減少しています。昭和37年の住宅地図には、「外人」「米人宅」などと記載され、アメリカ軍関係者が暮らす住宅は大野町だけで384戸以上もあったことが分かりました。しかし基地返還から50年が経過し、板

付基地の生き証人とも呼ばれる米軍ハウスは、建物の老朽化から空き家になっているケースが多いです。

心のふるさと館では、令和2年12月から市内の米軍ハウスの戸数を調べる調査を開始し、令和5年8月までに39戸を確認しました。もしかすると、あなたの身近なところにも米軍ハウスはひっそりと残っているかもしれません。



大野城市に残っていた米軍ハウス（令和2年に解体）



当時の米軍ハウス（個人蔵）

### 問い合わせ先

心のふるさと館文化財担当

☎(558)2206